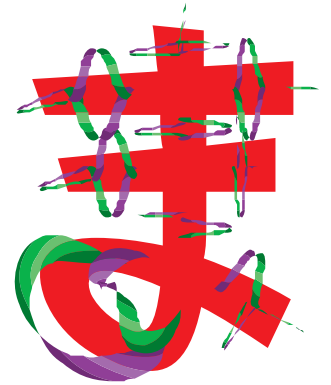




第3期  
宮前区区民会議  
中間報告書



平成23年3月  
宮前区区民会議



# 目次

<b>第1章 第3期区民会議の取り組み</b> .....	1
1. 共通テーマ ～宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくり～.....	1
2. 個別テーマの絞り込み.....	2
<b>第2章 第3期区民会議の審議状況</b> .....	4
1. 全体会と企画部会.....	4
1) 全体会.....	4
2) 企画部会.....	5
添付資料：第3期の議論の前提となる共通イメージ・合意事項	
2. 専門部会の審議状況.....	10
1) 活カづくり部会.....	10
添付資料：議論ペーパー	
宮前区の坂道一覧	
目黒区「坂道ウォーキングのススメ」アンケート	
2) <small>ちがみちしよら</small> 地参知笑部会.....	23
添付資料：議論ペーパー	
宮前区の1年の流れ（行事・イベント一覧）	
<b>第3章 今後のスケジュール</b> .....	32
<b>資料編</b>	
1. 委員名簿.....	34
2. 第2期区民会議提案への取り組み.....	35
1) 冒険あそび場活動の支援.....	35
2) みやまえカルタの制作.....	39



# 第1章 第3期区民会議の取り組み

## 1. 共通テーマ

### ～宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくり～

第3期では、宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくりを目指していくことにしました。

地域には数多くの課題がありますが、その全てに区民会議が取り組めるわけではありません。今期のテーマを決めるにあたり、住民のチカラで解決できる課題を整理していくと、やはり宮前区にとっては「都市型コミュニティの問題」がとても重要だし、区民会議の中期的な活動軸と位置付け、第1期・第2期でも取り組んできたコミュニティづくりに取り組んでいこうとなりました。

都心近郊の典型的な住宅地である宮前区では、どうしても目が外に向きやすく、いわゆる「川崎都民」になりやすい傾向にあります。川崎都民と言われる人たちは、地域社会と関わる必要性を知らないで育ってきていますし、そういう人がとても増えてしまっているせいで、地域社会を支える担い手が固定化・高齢化し、地域コミュニティが瀬戸際に立っています。

地域社会をより良くしていくためには、多くの住民が担い手として、コミュニティに関わる必要があります。しかし、ベッドタウンであり、転入・転出などで人の入れ代わりが激しく、ただ「住んでいるだけ」「寝に帰っているだけ」の住民が大多数を占めると想定される宮前区の現状において、いきなりコミュニティの担い手のレベルを求めることは難しいと考えられます。

まずは地域への興味を持ってもらい、イベントなどに参加して地域を楽しんでもらうことで、地域社会とのつながりを広げていくことが必要であると考えました。

そこで、宮前区を「住む」場所から「暮らす」まちへ変え、地域社会への参加を促進するために、地域社会の土壌づくりを目標に、地域に参加する素養がある住民をターゲットとし、宮前区の生活の楽しみ方やまちとの付き合い方をプロデュースすることで、地域に興味をもってもらい、その中で人と交流することで、地域への参加を促していくこととしました。

地域への参加につながる仕掛けづくりについては、宮前区らしさを表す「坂道」を活かし、まちの魅力づくりや健康づくりなどの「活力づくり」につなげる取り組みを審議する『活力づくり部会』、『地産地消』という言葉から連想される農産物に限らず、幅広い意味で地域の産物を活かし、地域の魅力を知り、地域社会への参加につなげる取り組みを審議する地産知笑部会の2つの部会で審議しています。

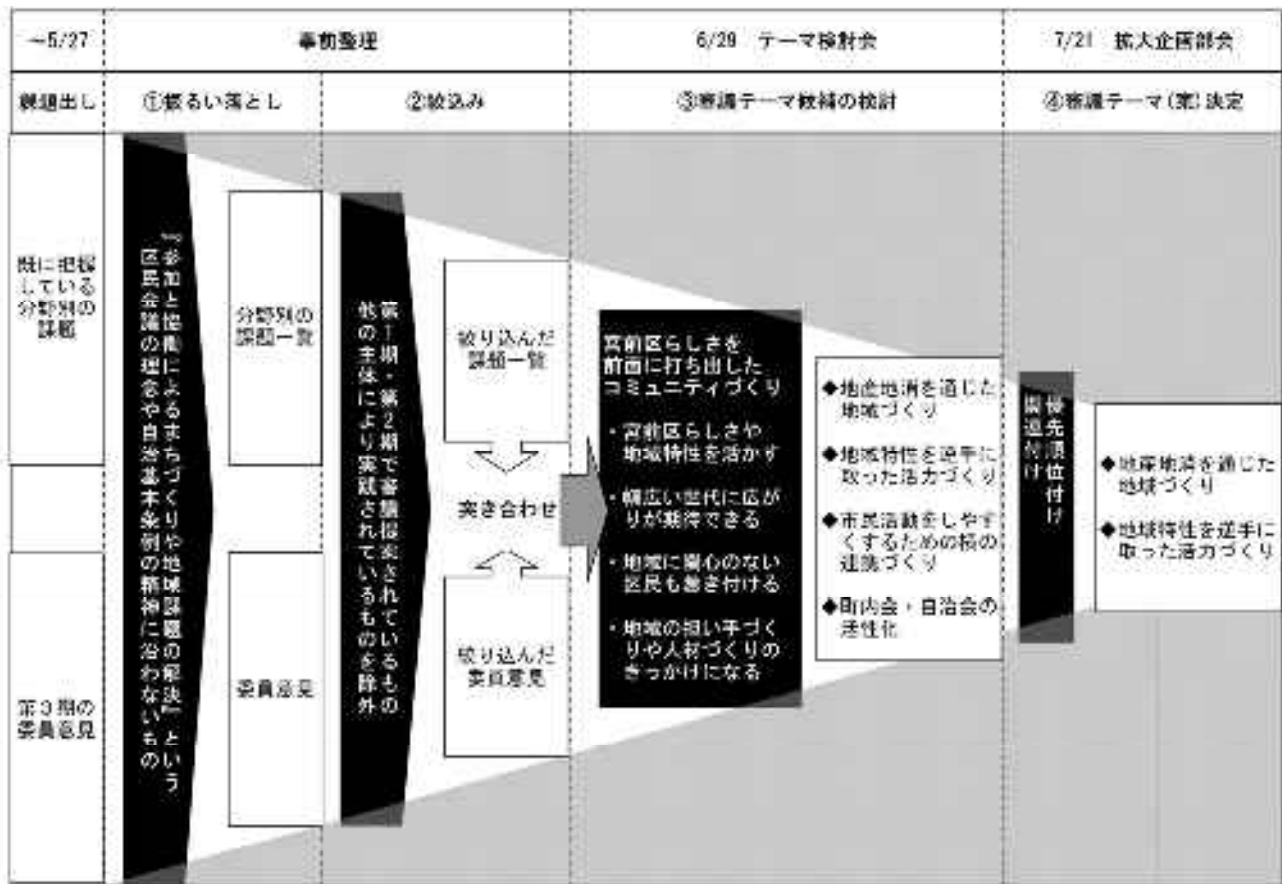
## 2. 個別テーマの絞り込み

「宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくり」に取り組むにあたり、審議の切り口となる個別のテーマは「地産地消を通じた地域づくり」、「坂道などの地域特性を逆手に取った活力づくり・健康づくり」の2つとしました。

テーマの絞り込みは以下の5回の会議を経て行いました。

事前勉強会	平成22年5月11日(火) ・各委員が普段感じていることや宮前区について思うことなど自由に意見交換を行いました。
第1回全体会	平成22年5月27日(木) ・第3期区民会議で話し合うと良いテーマについて、2グループに分かれてワークショップを行い、意見を出し合いました。
テーマ検討会	平成22年6月29日(火) ・委員意見や区役所で把握している様々な課題を、「参加と協働という区民会議の理念にそぐわないもの」や「第1期・第2期区民会議の提案を受けて既に取り組みが進められているもの」などの観点から整理し、以下の4つの候補が挙がりました。 ①地産地消を通じた地域づくり ②坂道などの地域特性を逆手に取った活力づくり・健康づくり ③市民活動をしやすいするための横の連携づくり ④町内会・自治会の活性化
拡大企画部会	平成22年7月21日(水) ・テーマ候補をさらに2つに絞り込みました。 ・テーマ候補のうち、検討したいテーマの投票、意見交換を行い、「市民活動をしやすいための横の連携づくり」、「町内会・自治会の活性化」を念頭に置きながら、「地産地消を通じた地域づくり」、「坂道などの地域特性を逆手に取った活力づくり・健康づくり」の2つを審議テーマ(案)としました。
第2回全体会	平成22年8月3日(火) ・「地産地消を通じた地域づくり」、「坂道などの地域特性を逆手に取った活力づくり・健康づくり」の2テーマ(案)を諮り、審議テーマが決定しました。

## ■ 絞り込みの流れ



▲事前勉強会・テーマ検討会では様々な意見がでました。

